



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年11月14日

上場会社名 株式会社ホクリヨウ 上場取引所 東
コード番号 1384 URL <https://www.hokuryo.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 米山 大介
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 松岡 昌哉 TEL 011-812-1131
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 未定
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の業績 (2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	9,673	18.0	1,856	200.0	1,892	188.6	1,304	188.2
2023年3月期第2四半期	8,198	—	618	—	655	—	452	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	154.16	—
2023年3月期第2四半期	53.50	—

(注1) 2022年3月期第2四半期までは連結業績を開示しておりましたが、2022年3月期第3四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、2023年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(注2) 「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	17,729	11,925	67.3
2023年3月期	16,849	10,746	63.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 11,925百万円 2023年3月期 10,746百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期 (予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

(注2) 配当予想の修正につきましては、本日 (2023年11月14日) 公表いたしました「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2024年3月期の業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,764	5.3	2,246	70.4	2,313	67.1	1,556	108.9	184.06

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

(注2) 業績予想の修正につきましては、本日 (2023年11月14日) 公表いたしました「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	8,459,000株	2023年3月期	8,459,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	82株	2023年3月期	82株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	8,458,918株	2023年3月期2Q	8,458,952株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期における日本経済は、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に分類され、来日外国人の入国規制撤廃によるインバウンド需要が復活、企業業績の回復を背景に日経平均株価が3万円台まで戻るなど、明るい材料が増えてきました。一方、世界的な燃料、原料相場の高騰と円安により消費者物価指数は毎月前年同月比3%前後の上昇が続いています。このため実質賃金は昨年4月以降今年9月まで18か月連続で前年同月比マイナスとなっており、未だ個人ベースで生活の改善を感じるレベルには至っていません。また国際情勢に目を移すと、出口が見えないロシア軍によるウクライナ侵攻、中国における不動産不況が引き金となった経済減速、米国金利の高騰に伴う円安が日本経済に暗い影を落としています。

鶏卵相場は、昨年秋より発生が拡大した鳥インフルエンザによる1,700万羽近い採卵鶏の殺処分の影響で今年6月中旬までは全国的に高止まりで推移しました。その後6月末からは殺処分した採卵鶏の再導入が進んだことから卵の供給量が回復、相場は下落局面に入っております。この結果、第1・第2四半期（2023年4月1日～2023年9月30日）における鶏卵相場の北海道Mサイズ平均は1キロ349円58銭（前年同期比97円58銭高）、東京Mサイズ平均は1キロ325円56銭（同113円22銭高）となりました。

鶏卵生産コストの6割を占める飼料価格は、主原料たるトウモロコシや大豆粕の価格が下落したことから第1四半期に続き第2四半期も値下げとなりました。しかしながら飼料安定基金による補填金が減少したため飼料の実質コストは前年同四半期より高くなりました。

当社は飼料コスト、物流費の高騰、千歳農場における採卵鶏淘汰による生産数量減少をカバーすべく、引き続き付加価値卵の拡売、鶏卵販売価格の改定に注力しました。この結果、売上高は9,673百万円（前年同期比18.0%増）となり、営業利益は1,856百万円（前年同期比200.0%増）、経常利益は1,892百万円（前年同期比188.6%増）、四半期純利益は1,304百万円（前年同期比188.2%増）となりました。

なお、ロシア軍によるウクライナ侵攻及び今年10月に激化したイスラエル、ガザ地区での紛争は長期化の様相を呈しており、これに伴う農産物、原油等の世界的なインフレ傾向と円安にも歯止めがかかっておりません。これらの情勢及び鳥インフルエンザの状況などの今後の経緯によっては当社の経営成績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第2四半期会計期間末における資産合計は前事業年度末に比べて879百万円増加し17,729百万円となりました。

流動資産は前事業年度末に比べて543百万円増加し6,307百万円となりました。これは、主として現金及び預金が730百万円、受取手形及び売掛金が410百万円増加した一方で、その他が600百万円減少したこと等によるものです。

固定資産は前事業年度末に比べて336百万円増加し11,422百万円となりました。これは、主として有形固定資産の建物が249百万円、機械及び装置が311百万円増加した一方で、有形固定資産のその他が299百万円減少したこと等によるものです。

②負債

当第2四半期会計期間末における負債合計は前事業年度末に比べて298百万円減少し5,803百万円となりました。

流動負債は前事業年度末に比べて132百万円減少し3,856百万円となりました。これは、主として買掛金が134百万円、1年内返済予定の長期借入金が120百万円減少した一方で、電子記録債務が79百万円増加したこと等によるものです。

固定負債は前事業年度末に比べて165百万円減少し1,947百万円となりました。これは、主として長期借入金154百万円減少したこと等によるものです。

③純資産

当第2四半期会計期間末における純資産合計は前事業年度末に比べて1,178百万円増加し11,925百万円となりました。これは、主として利益剰余金が1,134百万円増加したこと等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今期の業績予想につきましては当第2四半期累計期間の実績を踏まえ、2023年5月12日に公表しました通期の業績予想を修正いたしました。尚、詳細につきましては本日公表いたしました「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,528	3,259
受取手形及び売掛金	1,895	2,305
商品及び製品	104	124
仕掛品	17	19
原材料及び貯蔵品	210	192
その他	1,005	405
流動資産合計	5,763	6,307
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	6,848	7,097
構築物（純額）	392	424
機械及び装置（純額）	1,063	1,374
車両運搬具（純額）	15	20
土地	1,355	1,355
その他（純額）	418	118
有形固定資産合計	10,093	10,391
無形固定資産	62	56
投資その他の資産		
投資有価証券	436	496
その他	493	477
貸倒引当金	—	△0
投資その他の資産合計	929	974
固定資産合計	11,085	11,422
資産合計	16,849	17,729
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,616	1,481
電子記録債務	271	351
1年内返済予定の長期借入金	529	408
未払法人税等	575	630
賞与引当金	115	149
役員賞与引当金	28	—
その他	851	833
流動負債合計	3,988	3,856
固定負債		
長期借入金	1,730	1,575
退職給付引当金	156	153
役員退職慰労引当金	91	94
資産除去債務	76	77
その他	58	46
固定負債合計	2,113	1,947
負債合計	6,102	5,803

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,055	1,055
資本剰余金	754	754
利益剰余金	8,827	9,961
自己株式	△0	△0
株主資本合計	10,636	11,771
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	110	154
評価・換算差額等合計	110	154
純資産合計	10,746	11,925
負債純資産合計	16,849	17,729

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	8,198	9,673
売上原価	6,629	6,934
売上総利益	1,568	2,738
販売費及び一般管理費	949	882
営業利益	618	1,856
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	6	6
仕入割引	13	10
受取賃貸料	14	17
その他	9	8
営業外収益合計	43	42
営業外費用		
支払利息	2	2
賃貸費用	4	4
営業外費用合計	6	6
経常利益	655	1,892
特別利益		
固定資産売却益	—	0
保険解約返戻金	65	—
受取保険金	21	8
補助金収入	—	85
その他	—	1
特別利益合計	87	95
特別損失		
固定資産除却損	36	0
鳥インフルエンザによる損失	—	86
その他	1	—
特別損失合計	38	87
税引前四半期純利益	704	1,901
法人税等	252	597
四半期純利益	452	1,304

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	704	1,901
減価償却費	537	492
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	28	34
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△34	△28
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	5	△2
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4	3
受取利息及び受取配当金	△6	△6
支払利息	2	2
固定資産売却損益 (△は益)	—	△0
固定資産除却損	36	0
保険解約返戻金	△65	—
受取保険金	△21	△8
補助金収入	—	△85
鳥インフルエンザによる損失	—	86
売上債権の増減額 (△は増加)	△235	△410
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△36	△3
仕入債務の増減額 (△は減少)	304	△54
その他	△589	182
小計	634	2,103
利息及び配当金の受取額	6	6
利息の支払額	△2	△2
法人税等の支払額	△142	△545
保険金の受取額	21	8
補助金の受取額	—	376
鳥インフルエンザによる損失の支払額	—	△18
営業活動によるキャッシュ・フロー	517	1,929
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△900	△706
有形固定資産の売却による収入	—	0
無形固定資産の取得による支出	△10	△5
投資有価証券の取得による支出	△1	△2
保険積立金の解約による収入	65	—
子会社の清算による収入	178	—
その他	△79	△28
投資活動によるキャッシュ・フロー	△747	△741
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	300	—
長期借入金の返済による支出	△281	△275
リース債務の返済による支出	△11	△11
配当金の支払額	△126	△169
財務活動によるキャッシュ・フロー	△120	△456
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△350	730
現金及び現金同等物の期首残高	1,849	2,528
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,498	3,259

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社は、「鶏卵事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。